

会報

京都マイコン研究会

第 142 号

1999年 5月1日発行

発行人 圓口 佳 昭

事務局 京都府八幡市八幡城之内20
TEL/FAX 075-981-0063, 982-8064
nomasuda@nbox.kyoto-inet.or.jp
KYOMYCOM@nbox.kyoto-inet.or.jp

トピックスorニュース

増田則雄

MPU:MIPS R4400-RISC/220MHz.Memory:128MB,10Base-T.2系統のSCSI-2仕様のUNIX,ワークステーションが事務所に。ハードウェア完動品ですが、OSはライセンス契約の使用許諾に準じて破棄して頂きました。もし、利用するならOSのライセンス契約が必要です。中古です。

これについての契約先は、ソニー株式会社、NEWSインフォメーションセンターでしていただけるようです。

もう一台、今替で話題のUNIX (Linux)導入のサーバマシンも事務局に登場。これは新品です。

某所UNIXのネットワークサーバ専門の会社から購入しました。

完全にLinuxが機能してネットワークサーバとして利用出来るとの事で研究材料には効果きめんの逸品だと思います。(内緒でもう一台UNIX買っています。)

(ゴールデンウィークは大変忙しい。)

以前にも2セット所有していますワークステーションはUNIX系ではなく利用するにはちょっと開発言語が違う為、今更後戻りするわけにはいかない。

新規購入したマシンは一部の方とじろじろ見た上、持ち運び出来ませんので、チャンスがありましたら皆さんにもお目にかけられる時が来ると思います。

何故かしらネットワークサーバを複数台買ってしまったのです。

個人で無茶なものを買う、そんな時代になってきたのかと自分なりにあきれます。何をするねん。ム……。

例会報告

1999年4月3日 (pm.6:30)

場所 大山崎ふるさとセンター

参加者氏名 中辻、若井、中村、中西洋、中西秀
増田、岩井、圓口、上田 9名

内 容 中辻氏リナックスその後動作状況。
久々に登場の両中西氏。

次回例会

日時 99年5月1日(土) (pm.6:00)

場所 大山崎ふるさとセンター

例会内容 18:00 情報交換 近況報告 疑問質問
19:00 未来派の再編成と骨子について。
20:30 事務局。UNIX (SAN)
サーバマシンについて

二次会談 自由参加 21:30~
よもやま話PCの悩み相談可

メールアドレスのお知らせ

PCUA KYOTO 事務局メールアドレスの変更

ご変更下さい。

事務局に光ファイバーケーブルが接続される

ここ数ヶ月来、検討してきました光ファイバーケーブルがこのほど接続されました。

24時間接続、固定料金、接続スピードはISDNの100倍をうたい文句に引かれ導入決断をしました。

事務局へ来れば「使い放題、見放題、料金は要らない」の三拍子揃った悠々気分が味わえます。

事務局マシンも新しく導入、続いてもう数台導入中です。

インターネット、実用アプリケーション、言語、ネットワーク管理の講習や実習などの利用技術から、色々なマシンやシステムなどが、体験できるスペースとしても開放していきたいと思っています。

まだテスト中ですが、ネットワークコミュニケーションが出来れば遠く離れた方や、月例会に参加出来ない方達との会員相互のコミュニケーションがはかれるのではないかと思います。

先駆者である、中西洋一氏にご迷惑ですが利用技術のご指導を仰いでいます。ネットワークコミュニケーションの中には、チャット・インターネットホーン・インターネットテレビ電話・インターネット掲示板などがあるようですが、皆さんがこれらの環境に慣れ親しむように事務局の整備を進めていきたいと思っています。

事務局

未来派 報告

増田則雄

4月=6/13/20/27日

参加者：(若井・中辻・中村・若林・吉田・今西・今井・藤本・中西元・増田・渡辺・林・大塚・河原)

● ホームページは自分で管理。

新規入会された「中西元章」さんは、経営されておられる商品をホームページ上にUPされておられるのですが、メンテナンスが月契約の為、顧客のタイミングに合ったメンテナンスができない。全てを管理できなくてもビジネスシーンを把握出来るようにしていきたい。との希望からインターネット部会、部長の若井さんや若林さんのお力をお貸したいと参加されておられます。ビジネスとパソコンリテラシ、現在の社会環境にあっては、無くてはならないアイテムになってきている事を感じます。

● 計画と目標の達成は大切な原動力。

誰でも、目標や納期をはっきりさせない場合に起こりうる「尻すぼみ・尻切れトンボ」と言われる言葉は、ビジネスの場にも個人の日常生活の場でも起こりうる中途半端な結果を表現する事に使われますが、未来派でも毎回参加者が増え続け、本来の目的である「夢多き初心者ステップアップさせる為」「パソコンを利用していると認識できる」「それぞれの未来の夢を大きく膨らませる」等々の目的で開催している未来派の精神が分岐点に差し掛かりつつ感じられてきましたのでこの辺りで修正しなければと思います。参加される一人一人が自分の行動について軌道修正していただければ幸いです。

各分野毎に編成し直し、指導して頂けるベテラン会員の方々に、独自の指導をお願いしていきたいと思っています。

○インターネット(若井、若林、吉田)

元来からインターネット部会が併催されていますので、部長である若井氏、若林氏・吉田氏お3人の指導のもとで一つのグループをお願いしたいと思っています。

○言語(プログラミング) Visual Basic (増田、中村)

数年来継続しているグループで、最近の馴れ合い感の解消に加え新規参加者もあり、新旧の融合整理も必要であると感じています。

○ハード(中辻)

それぞれのハードに関するトラブルや周辺機器に関するトラブルなど、今までにも的確に解決して頂きました中辻氏に担当して頂き、事務局にワークステーション「UNIX」マシーンも導入しましたので、UNIX系Linuxの先駆者である事で皆さんも存知の中辻氏は欠かせない方で今後共、お手伝いをお願いしなければならないと思います。

● CATV 光ファイバーケーブルによるインターネット

事務局に導入したケーブルネットが導入前に予想していたスピードより遅く感じるという会員さんの感想でした。

そこで、その旨プロバイダーであるZAQにメールにて問い合わせたところ、近日にKBC(ケーブルテレビ局)のシステムの増設メンテナンスが行われる事になると言う返事を頂きました。数日後にKBCからメールで増設工事の連絡が入りましたので、スピードに関する問題は解消されそうです。

ZAQの方は12Mでの接続がなされているとの事です。

● 未来派 ゴールデンウィーク特別企画

ゴールデンウィークに事務局でUNIXとLinux検証会を開催したいと思いますが、5月例会に決めたいと思いますが？



未来派 報告

増田則雄

CATVインターネット

料金体系やサービス、システム的な内容など

インターネットを利用するためにのお金は、1カ月にかかる電話料金は市内にアクセスポイントのあるプロバイダを日に30分使ったとして、3,000円。固定のプロバイダ料金を足して、月額2,000円合計で約5,000円前後。それ以上利用すると電話料金は増えるが、テレホーダイなら月額2,000円「テレホーダイ」深夜の23時から8時まで。いくら使っても、電話料金は月額1,800円の固定で、ISDN回線を使えば、600円高い2,400円。テレホーダイを利用すれば、固定低額料金でインターネットができる。しかし、ほとんどの人がテレホーダイの時間帯まで起きていてインターネットを利用しているため接続スピードが遅く、そして年中寝不足気味になっていなければならない。

その他、常時接続できる、OCNエコノミーや、OCNエコノミーなどの専用線接続がある。OCNエコノミーで月額38,000円という高額な接続料金で、SOHOで仕事をしている人ならともかく一般の電話回線を利用した方が安い。

インターネットは、電話料金がかかることが最大の問題だが、しかし、常時接続で電話料金がかからない接続サービスが出現して注目されている。これがCATVインターネットだが利用できる地域が少ないが、これまでの電話回線とプロバイダに代わる次世代の接続方法です。

CATVインターネット接続と従来の電話回線を用いたインターネット接続との違いは。

まず、CATVインターネットは、電話回線を使用せず、CATVの回線を利用している。CATVは、地域内の電柱に専用のケーブルを張り巡らせて、そのケーブルを家庭内に引き込んでテレビ放送を受信するというもので。そのため、CATVは、ケーブル1本をまるごと利用することができる。使用できる周波数帯域の幅が広い。一方、空中を電波を使って放送する従来の地上波テレビ放送や衛星テレビでは、主要な周波数帯はもはやパンク状態となっているのが現状で、CATVは、局が自由に使えるケーブルを使って番組を放送して、多チャンネルのテレビ放送ができる。しかし、多チャンネル放送を実現していても、まだケーブル内には、テレビ放送では使っていない別の周波数帯域が残っていて、CATVインターネットは、この「残った別の周波数帯域」をインターネットに利用しているのです。CATVのテレビ放送を見ながら、インターネットが利用できもちろん、電話回線を使用しているわけではないので、電話料金は一切かからない。ということは、テレホーダイの時間帯まで起きていて、インターネットを利用しなくてすむのだ。当然、話し中でプロバイダにつながらないといったこともない。

電話回線に比べて回線速度が高速なことも、特徴としてあげられている。

電話回線は、双方向で音声のやり取りをするために設けられた回線だがそのため、音声を取り扱える周波数帯域でしか、データのやり取りができない。だから、アナログ回線では57.6Kbps、ISDN回線を利用したとしても128Kbpsまでしかデータ転送帯域が確保できない。

CATVでは、音声と映像を多チャンネルのテレビ放送で流すことができる。前述のように、CATVインターネットは、そのテレビ放送以外の残ったデータ転送帯域を利用するサービスで。その残ったデータ転送帯域とはいえ、どのくらいの転送速度を確保しているのかというと、CATV局にもよるのですが、およそ10~20Mbps。ISDN回線の128Kbpsと比較しても約80倍の速度だ。約80

倍と聞いてもピンとこないだろうが、15Mバイトという巨大なファイルサイズのNetscape CommunicatorをISDN回線の128Kbpsでダウンロードしたとき、約20分の時間がかかるところを、CATVインターネットの回線を利用すれば約15秒でダウンロードできるのだ。ただし、通常のプロバイダと同様で、たくさんの人が使っていればレスポンスは悪くなる。このため、多くの人によりよい速度で使ってもらおうと、1人が使えるデータ転送速度に、512Kbpsや3Mbpsといった制限をかけているCATV局もある。(この現象がK-CATに生じていた事になる) さらに、CATVインターネットの特徴は、データを送る「上り(アップ)」は2Mbps、データを受取る「下り(ダウン)」は8Mbpsというように、上下非対称に回線速度を変えてサービスが提供される場合が多い。この回線速度が違うメリットは。

通常インターネットを利用するとき、メールを受信する、ウェブページを見る、ファイルをダウンロードする、と言うように主に下りの回線を利用している場合がほとんどで。ファイルの一部を受け取るたびに、自分が知らないうちに受け取ったという返事もインターネットに発信されている。上り側を意識して使ったというときは、メールを送信したときぐらいで。通常、ファイルを送信することもあまりない。上りと下り、どっちをよく使っているかという、圧倒的に下りなのは。

このようなインターネットのユーザーの利用方法から、CATV局側でデータ転送速度を変えて、回線を有効活用しているということです。

CATVインターネットは、常時接続で「使いたい放題」というイメージがある。しかし、その料金体系は電話回線で接続するプロバイダと同じく、従量課金と固定料金のどちらかを採用しているところもあるがK-CATでは前記したように「使いたい放題」の固定料金です。接続業者により、金額はサービスによってまちまちなため一概には言えませんが、5,000~10,000円が相場のようなようです。もちろん、電話回線を利用していないため、電話代はかからない。従来のテレホーダイとプロバイダ料金に比べると、23時まで待たずに、使いたいときにインターネットを使える。しかも、高速な回線で。このメリットを考えると、このちょっと割高な価格でも十分納得できる納得の接続方法です。

固定料金を採用したところで、CATVインターネットに接続していると、専用線と変わらないような気もする。しかし、専用線とは違う点がある。

まず、IPアドレスの割り振られ方が違う。インターネットに接続した端末には、世界中のどこからでも識別できるように、世界に1つしか存在しない「グローバルアドレス」というIPアドレスが割り振られる。専用線には、あらかじめ決められたグローバルアドレスが割り振られていて、世界中のどこからでもそのグローバルアドレスを指定すればアクセスすることができる。

しかし、CATVインターネットの場合、CATV局側が持っているグローバルアドレスを自動で割り振る「DHCP」を採用しているところが多い。この点は、電話でプロバイダに接続しているときと変わらない。DHCPでは、アクセスするたびに違うグローバルアドレスをユーザーに割り振られたり、時間単位で使えるIPアドレスが変わっていく。CATV局側で設定された時間を超えれば、IPアドレスが変更されてしまうことがある。このため、専用線のように、外部のユーザーが毎回同じグローバルアドレスで自分のIPアドレスにアクセスするということはできない。

グローバルアドレスのほかに、「プライベートアドレス」と呼ばれる、CATV局ならCATV局内のネットワークでのみ有効な独自のアドレスを割り振るところがある。この場合、インターネット上には存在しないIPアドレスであるため、外部からのアクセスはできない。当然、グローバルアドレスを利用するネットワーク対戦ゲームやチャットも使えない。だからといって、CATV局外のインターネットにアクセスできないということではない。エリアの外側と内側とをやり取りするサーバを中継して、CATV局エリア外へメールを送受信したり、ウェブページを見たり、ファイルをダウンロードできたりする。電子メールソフトやウェブブラウザの設定さえすれば良いのです。

インターネットにIPアドレスを流すには、グローバルIPアドレスに変換する必要がある。変換はC

A T V局にて行われる。

このプライベートアドレスでは、グローバルアドレス不足の問題を気にすることなくIPアドレスを割り振れるため、低額のサービスが提供できるというメリットにもつながる。また、外から中へはアクセスできないため、外部からのセキュリティがかなりのレベルで保てる点も特徴だ。だからといって、外部からのセキュリティがしっかりしているからと、ユーザーが自分のIPの設定を不十分にしておこうものなら、これはこれで大問題である。同じCATVインターネットに接続しているユーザーにハードディスクの中身が簡単に見られてしまうこともある。

最近では、ネットワーク対戦ゲームやチャットをしたいユーザーへの対応や、プライベートアドレスのネットワークサポートのコストを考え、グローバルアドレスの導入を検討するCATV局も増えている。

CATVインターネットの中には、固定のグローバルアドレスで専用線サービスを提供するところもある。しかし、グローバルアドレスを専用線に割り振る分、それだけ料金がかかる。こうしたメニューは、企業向けのサービスとして提供されている。

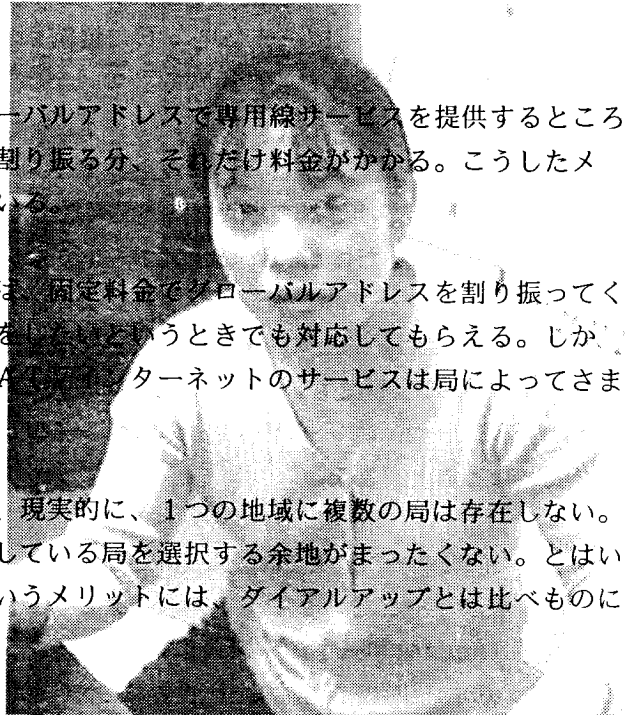
CATVインターネットを十分に楽しみたければ、固定料金でグローバルアドレスを割り振ってくれる局のほうが、将来自分のドメインで情報発信をしたいときでも対応してもらえる。しかし、料金体系や、アドレスの割り振り方など、CATVインターネットのサービスは局によってさまざまだ。

また、CATV局の設備はコストがかかるので、現実的に、1つの地域に複数の局は存在しない。だから、自分に合ったインターネットサービスをしている局を選択する余地がまったくない。とはいえ、電話代がかからない常時接続や高速な回線というメリットには、ダイヤルアップとは比べものにならない魅力がある。

CATVインターネットの決定的なメリットに、「常時接続が可能」な点があげられる。つなぎっぱなしでよいわけだから、ポイントキャストやアクティブデスクトップといったプッシュ型情報配信の恩恵に100パーセント浴することができるのです。

そしてもう1つのメリットは、データ転送速度が高速であるという点で。CATVインターネットの回線が速いというメリットは、動画や音声などのマルチメディアコンテンツを見るときに大きな効果を発揮する。インターネット上には、世界中のインターネットラジオ局があり、アメリカのインターネットFM局の放送を自宅で聴きながら、ほかのインターネットサービスを楽しむといったことができる。そのときでも、回線速度が速いため、遅延で音が途切れることが少なく。また、これまでの動画配信では、小さな映像がつぶれて紙芝居のような感じだったが、CATVインターネットではもっと大きな映像で動くものが見られる。すでに、クロスビームネットワークがサービスを提供している「ウェブプラス」(参考、タイタスALLNET)では、CATVインターネットのユーザー向けに映画予告などの動画配信、CDの試聴、カラオケ、ゲームなどマルチメディアコンテンツを統合したものを提供している。いずれも、従来のインターネットの利用方法では、ファイルは巨大なサイズだが。それでも、接続する前提をCATVインターネットだと決めてしまえば、巨大なマルチメディアデータでも現実のものとして利用できるのです。

さらに、インターネットはオンラインソフトの宝庫である。その中から自分が必要なプログラムや



データをダウンロードするときにも、回線が速いというメリットが威力を発揮する。インターネットからのファイルのダウンロードは、まさに自分のハードディスクからコピーしている感覚で扱える。もちろん電話代を気にする必要がないので、翌日出社や登校を控えながらテレホーダイの時間帯まで待って、大渋滞の中、ファイルをダウンロードすることもない。

データを受け取る側だけではない。インターネットは双方向性があるメディアなので、受信者側でもあり送信者側にもなれるのだ。だから、CATVインターネットのユーザーどうしがNetMeetingなどのチャットソフトにカメラとマイクを接続して相互にやり取りすれば、テレビ電話として利用できる。

CATVインターネットに接続する方法は、普通のアナログモデムやTAを使用するのではなく、「ケーブルモデム」という、専用のモデムをPCに接続して使用する。このケーブルモデムとPCの接続方法は、10BASE-TのEthernetを使用する。

Ethernetと聞くと、少し敷居が高いと感じる人もいるだろう。しかし、CATVインターネットを利用するだけなら、そう深く考えることはない。最近増えているEthernetポートを標準で持つPCなら、Ethernetケーブルを買ってくるだけで、EthernetポートがないPCの場合は、10BASE-Tに対応したEthernetボードとEthernetケーブルを別途用意すればよい。PCIバスに接続するEthernetボードを使えば、Windows 98であれば、ほとんどの設定作業を自動でやってくれるため、何も考えずにセットアップが終了する。Windows 95の場合でも、ネットワークボードのドライバを指定すればそれほど難しいことはない。ISAバスに接続するEthernetボードの場合、ユーザー側の環境によって設定が異なるため、PC自体の知識がある程度必要となることがある。

しかし、実際にケーブルモデムとEthernetボードを接続したとしても、そのままではインターネットが使えない場合がほとんどだ。セキュリティ確保のために、何かしら認証がかけられている。最近よく使われているのは、Ethernetボードの「MACアドレス」をCATV局に申請するというもので、MACアドレスは、Ethernetボードに付けられた、世界に1つしかない番号である。申請したMACアドレスを搭載したPCにのみIPアドレスが割り振られるので、ここからはインターネットが使えるようになる。これにより、PCを1台しか接続してはならないユーザーが、複数台のマシンを接続できないように制限をかけている。

ところで、CATVインターネットを利用するためのケーブルモデムはどこで売っているのだろうか。パソコンショップで販売されているところを見たことがない人がほとんどだ。なぜなら、ケーブルモデムは単体では販売できない。さらには、CATV局によって設定がちがうため、ほとんどのCATV局が無料で貸し出している。

本当のCATVインターネットの良さは、グローバルアドレスのサービスで月額固定の接続料金、ユーザーが使いたいときにいつでも気軽に使うことができるということにある。

現在、CATVインターネットの本サービスを提供しているCATV局はまだまだ少ない。しかし、第一種電気通信事業許可を得ているCATV局は48事業者いる。この50社近い事業者がCATVインターネットなど、CATVのインフラを使って通信事業への参入を考えている。今後、CATVインターネットのサービスが整ってくれば、インターネットサービス＝ダイヤルアップ接続という図式から、家庭からでも常時インターネットが接続できる＝CATVインターネットという図式が、いずれ見えてきそうです。

未来派に始めて参加して

河原 友三郎

1. 複数台のパソコンをCATV回線への接続

現場に臨んだら、CATV回線のモデムからLANケーブルが一台に直結してあるだけで、他のマシンは接続していない。その代わりに他の複数マシンはHUBでLANがリンクしてあった。

それで、長文のメールの内容が理解できたのだ。

早速にLANケーブルのリバースを持っていないことから、中辻さんのお出ました。

ケーブルの改造を始めるが、リバース結線図を偶然に河原が持っていたが、ピン番号配列が左右のどちらから読むのかブックに記載されていない。そこで、検索がお得意の若井さんの出動である。約30分程でインターネットからケーブル接続図や配列ソケットの図面が出てきた。これは囲碁の腕前からくるもので流石である。

ケーブルのリバースへの変更も完了して、すべてのケーブルをCATVモデム+リバース+HUBへ接続して、今までのインターネットへ接続していたマシンから始動して接続を確認して他のマシンも同じHUBへ接続した。

けれども、他のマシンでIEやネットワーク設定を行って、IEを起動してもCATVへ繋がらない。途中で疲れたので帰宅する。(この顛末は会報へ追加下さい)

2. 一台のマシンから複数のIDアカウントを持った者がメール送受信できないか。

増田さんの長文メールに提議されたことであるが、企業に勤めている方はご承知のことだったと思います。

今回提供されたMSのIE5はその機能を持った記事を読んでいたのですが、確信をしていなかったのので、シャウエア・ソフトを紹介していた。数日後にIE5の詳しい記事が某雑誌に掲載されたことを伝えた。

話は変わるが、増田さんはWindows98が簡易のサーバマシンに変身することを知っているのだろうか。これを構築するテーマがありますよ。

3. 初心者のホームページの話題

帰り際に、某社長からIBM社のHPB2000の取り扱いについて「Q」された。けれども、HPをプロバイダ・サイトからDLしたものをHPBで見ようとしての「Q」だったので、どんな拡張子の付いたファイルがインターネット・ブラウザに供されていることを全く知らずにHPBを操作しようとしていたのです。懇切に説明したら夜明けまで掛かりそうなので、適当に煙を巻いたが、インターネット部会で入門講座を開いて下さい。

その上で、HPBの使い方の解説を行っても良いです。若井部長へ提案です。

以上、昨夜の盛大な出来事を伝えました。

追記：各位はボランティア活動でされているが、そこへ学びに来ている方にとっては、会費はお得な費用だと痛感しました。でも、各人、習得したい目的が異なるので、集約される世話人はもっと大変です。

いま にし あ き
今 西 亜 季

今西亜希です。

私がコンピューターと出会ったのは、今から四年前になります。

以前勤めていた病院で栄養計算ソフトを使い始めたのがきっかけです。

その当時使っていたソフトは、非常に調子が悪く、病院の係長が増田さんの知り合いだったことから、調子が悪くなるといつも増田さんのお世話になっていました。

同じ頃、私は初めて自分のパソコンを購入しました。しかし、しばらくの間ほったらかしにしていました。ああ、とてもかわいそうなことをしてしまいました。(笑)

しかし、増田さんには、相変わらず病院に来ていただいていたので、私も増田さんとお話をするようになり、お宅の方にもおじゃまさせていただくようになりました。

増田さんの家に伺うたびに、コンピューターの話だけでなく、色々楽しい会話ができて、私の足も、おのずと、増田さんのお宅に向かう回数が増えるようになってきました。

先にも触れましたが、当時の病院の栄養計算ソフトが、あまりにも調子が悪いため、増田さんに「自分らで、プログラムを作ったらえーやん。」とさらっと言われてしまいました。

そこで、当時の後輩二人に声をかけ、週三回のペースで、増田さんのお宅に通うようになりました。同時に、栄養士専門学校の同級生の今井弘美さんにも声を掛けてみると、「やってみたい!」とゆうことだったので、今井さんの後輩の藤本久美子さんを含む五人でこの作業に取組む事になりました。パ*パ*パ*パ*チ…

今井弘美です。亜希ちゃんに「うちの病院にもボロコンピューターがきてん!」

と話をしたら、「それ使えんの? いっぺん一緒に増田さんとこ行こう。」と言われ、

返事出しませんか怪しいメール下さい。貰えるものは何でももらう性格で〜す。他人に厳しく自分に甘い、怪しいメール溜めています? 私の携帯には、怪しいメールがい〜っぱい! 人に見せられないほど怪しい。最近今井さん藤本さんに苛められています怪しいメール見せると脅迫されています。今日、怪しいメール消しました。トイレに行っている間に見られそうになったからで〜す。トイレも行ったし、これで気持ちが落ち着いた。でも、残念こっそり毎晩見ていたのに。ム〜。今度はパソコンに保存しておきたいこっそり見れる楽しみが。 まだまだ延々と文書が続くため数回に分けて連載します。

文中の写真は、未来派でのそれぞれのシーンです。

事務局現在のネットワーク状況

増田則雄

光ファイバーケーブル接続と、LAN(10BASE-T)ハブ接続にて8台のパソコンが繋がっていますが、未来派に初参加された河原氏が、本来光ファイバーから変換機を通してパソコンのLANボードに接続しているLANケーブルをクロスにして、ハブに接続すれば複数台でインターネットサーフィンが出来ること、提案され接続されましたが、やはり、私が思っていた通りの結果になっています。

今回の会報にも掲載しています事とを、かみ合わせて考えれば当然の結果だと思います。

始めにインターネット接続されたパソコンではネットに入れるが、他のパソコンからは同時に入れない。また、LAN機能も正常に働かない現象が現れている。

光ファイバープロバイダーのIPアドレスを設定する時に、LAN設定を崩してしまった結果、一部修復不可能なパソコンが出来てしまった。未来派以外にも講習でこれらのパソコンを利用している為不具合が生じるので、(LANでサーバ的な役目をしているパソコンにデータを蓄積している為)連休を利用して初期化することになってしまいました。

配布のお知らせ

編集部 増田則雄

前回まで連載して頂きました岩井宏安氏の「BIOSの基礎」の別内容の文章が寄せられています。

会報記事には掲載されていない事柄などが多く含まれています。

Myパソコン(自作機)を作る時に必ずくぐらなければならない部分が「BIOS」です。その全容をWord文章で30ページに及ぶ作品で、会報に掲載するには膨大でご入用の方には配布致します。

メールでの配信かディスクでの受け渡しか明記してご連絡下さい。

長編「BIOSの基礎」を掲載して下さい。岩井氏貴重な情報をほんとうにありがとうございました。会員に代わりお礼を申し上げます。